

単元名 ことばから形・色(絵)

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 詩や物語の好きな場面を選んで、想像した場面に合う塗り方や構図を見付け、表すことができる。
 (2) 詩や物語で想像したことから、表し方を考えるとともに、自分の作品の工夫したところや、友達作品のよさや美しさを感じ取ることができる。
 (3) 詩や物語の好きな場面の様子を想像し、絵に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

03080204_001

【準備等】画用紙、色画用紙、水彩用具一式、パス、サインペン、クレヨン、色鉛筆、色紙、和紙など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までに読んだ詩や物語の中で、ドキドキ、ワクワクした場面を思い出し、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな詩や物語かを思い出す。 ○出てくる人やものがどの場面で、どんな気持ちだったのかを思い出す。 ★詩や物語の中に入った気持ちになって絵をかこう。 ○スケッチをし、構想を練る。 <p>2 スケッチを基に、下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○画面構成を考えて、下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> ・一番かきたいものの位置 ・周りのものの様子 ・伝えたい気持ちの表現方法 <p>3～5 自分の気持ちが表れやすいように、表現を工夫しながら、作品を完成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具…混色・にじみ・筆使い ・貼り絵 ・色鉛筆 ○中心になるものの調子を整えながらかく。 ・中心になるものの表情や色の工夫 ○全体の調子を整えながら、作品を完成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体のバランス <p>6 友達の絵を鑑賞しながら、印象に残ったことを話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品に対する思いやそのときの気持ちを作品カードに記入する。 ○友達の作品のよさを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書3・4上 P.42, 43 ・自分がなぜ感動したのか、どんな気持ちになったのか、具体的に思い出し、メモを取らせる。 ・登場人物の気持ちが伝わるような構想を練らせるため、表情や動きに注目させる。 ・スケッチの段階で、教師は児童の思いをよく理解し、構図や表現方法などの支援をしていく。 【評】詩や物語から、思い浮かべた場面を広げて、表そうとする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・スケッチを基に、背景なども考えさせる。 ・人物の服装や背景などは、具体的な資料を用意しておくといよい。 ・自分が一番表現したい主人公を中心にして、そのときの状況を適切にとらえさせる。 ・表現をより効果的にするために強調表現や構図の工夫を助言する。 【評】自分が想像した場面を表現するためにどのようにしたらよいのか、考えながら下絵をかく活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・どこにどんな色を塗っていくのかをはっきりとイメージさせる。 ・主人公を大きく表現し、表情やしぐさなどでそのときの気持ちが伝わるように工夫させる ・かいている途中で、自分の意図しているものが表現されているか、確認させる。 【評】印象に残った場面に合わせて画用紙や描画材料を選び、塗り方や画面構成を工夫してかく活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・伝えたかったそのときの気持ちや思いを作品カードという形で、友達に伝えさせる。 【評】自分が作品をかいたときの気持ちや思いを伝えたり、友達の作品のよさや思いを感じ取ったりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

他教科等との関連

国語科で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり、思いを広げたりすることは、国語科の「〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと(1)」にもつながる。